

Oh-o! Meiji

公開シラバス

年度	2015 年度				
授業科目名	理工学部 ゼミナール2				
担当教員	中 所 武 司 教授				
開講日	秋学期集中／その他／その他	単位数	2	キャンパス	生田
授業言語	日本語				

授業の概要・到達目標

4年で行なうソフトウェア工学に関する卒業研究の準備と位置づけて、アプリケーション開発技法としてのオブジェクト指向関連技術の演習と調査を実施するとともに、その関連の発表と質疑応答を行う。

具体的には、Java プログラムの作成によるオブジェクト指向プログラミング技術の習得、および Web アプリケーション構築技法に関する新技術の調査に基づく幅広い視野の習得を目標とする。さらに、その関連の議論を通じてコミュニケーション力の習得を目標とする。

授業内容

- [第1回] 全体の進め方の説明
- [第2回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第3回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第4回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第5回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第6回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第7回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第8回] 自作の Java プログラムの機能、設計方針、プログラム構成、実行の流れ、結果の考察などについて順番に発表し、全員で議論する。
- [第9回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第10回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第11回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第12回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第13回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第14回] Web アプリケーション構築技法関連の要素技術を分担して調査報告し、全員で議論する。
- [第15回] まとめ

履修上の注意・準備学習の内容

発表に際しては、考察などで自分の意見を述べる事が重要である。その時、説得力のある根拠を示すことが望ましい。また、他の人の発表の時に積極的に質疑・討論に参加することを求める。発表終了後、発表者は議論した内容を議事録にまとめて、研究室のメーリングリストに流すこと。議論の時に答えられなかった質問については、後で調べて、議事録に掲載すること。

教科書

特になし

成績評価の方法

作成したプログラム及び技術調査報告の内容とその発表・討議を総合して評価する。

